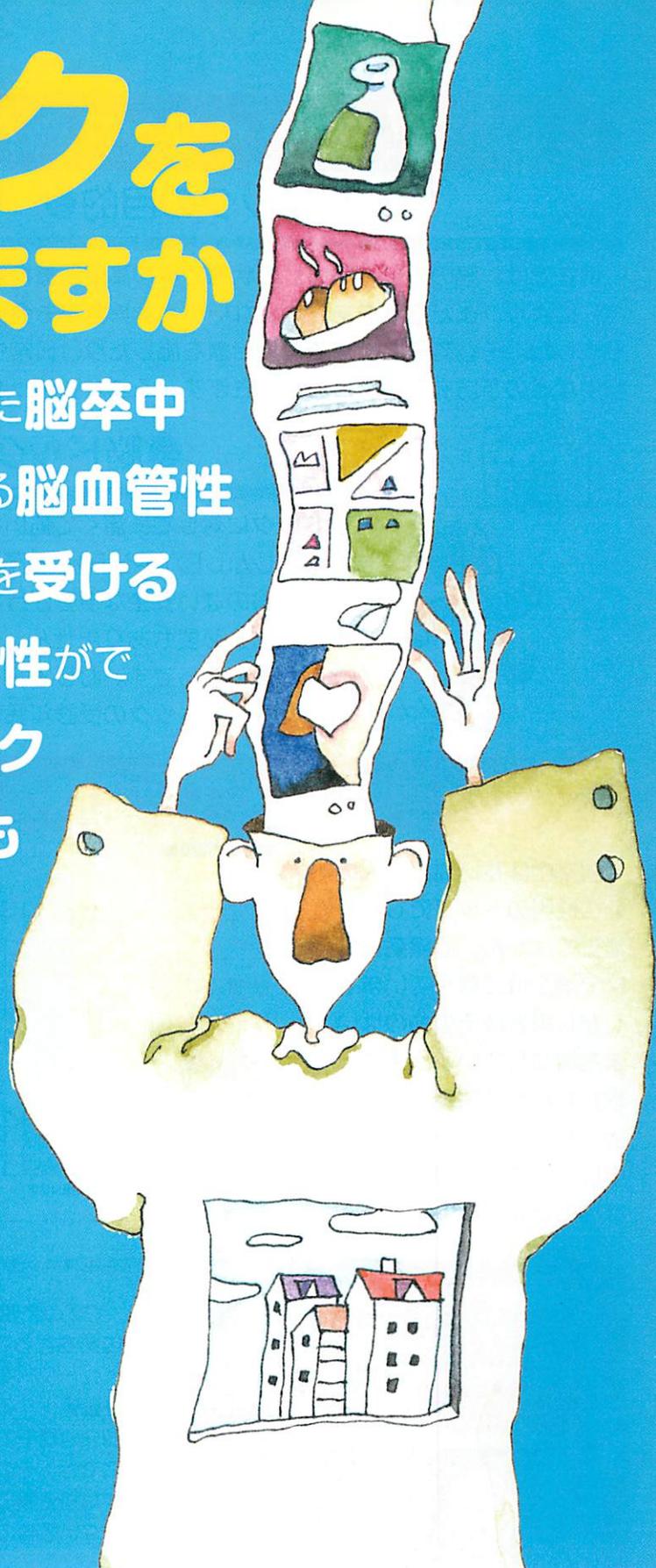


脳ドックを知っていますか

以前は**予防**が難しかった**脳卒中**
や、**認知症**の一つである**脳血管性**
認知症は、**脳ドック**を受ける
ことで**予防**できる**可能性**がで
てきました。では**脳ドック**
とは一体**どのよう**なも
の**でしょうか**。



[監修] 水上公宏

千葉脳神経外科病院理事長
赤坂パークビル脳神経外科顧問

脳ドックって何だろう？

●脳ドックの目的●

現在では、脳の内部を輪切りの状態で写す高度医療機器（CTやMRIなど）により、まだ症状をあらわさない小さな異常をも発見できるようになりました。そしてその時点で早期治療を施したり、日常生活を改善し、脳卒中などの予防をはかることができます。それが脳ドックの目的です。



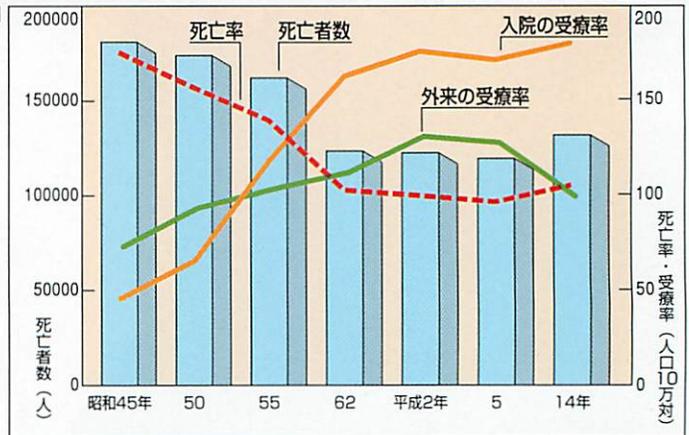
●脳ドックは怖くない●

脳ドックに対して、痛くて怖いイメージをもっている人がいるかもしれませんが、しかしCTやMRIなど高度医療機器の開発により、脳ドックでは苦痛や危険のない安全な検査が行われています。また、異常が発見されるのを心配する必要もありません。その発見のおかげで、適切な治療や予防方法がわかるからです。むしろ、その発見は喜ぶべきことなのです。40歳になったら、脳ドックの受診年齢と考えて、ぜひ受けましょう。

増えている脳卒中患者

脳卒中は長い間日本人の死亡原因のトップでしたが、最近ではがん、心臓病について第3位になっています。しかし患者数そのものはいまだ増加しているうえに、寝たきりや認知症などの原因にもなっています。脳卒中は決して過去の病気ではないのです。

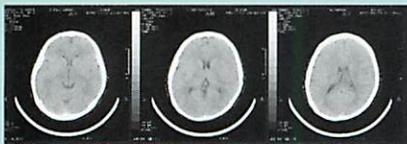
脳卒中の
死亡者数、
死亡率、
受療率の
年次推移



(資料) 厚生労働省「人口動態統計」「患者調査」

脳ドックを可能にしたハイテク機器

CT (X線断層撮影)



(CT写真)

CTの発明により、はじめて頭蓋骨を開けずに脳の内部を見ることができるようになった。X線とコンピューターを使って、脳を輪切りにしたような断面図を画像化することができる。骨や出血部分は白く、脊髄液や梗塞部分は黒く写る。出血と梗塞の区別が瞬時にでき、その場所もすぐにわかるため、脳卒中の診断や早期治療に大いに役立つ。緊急の場合や、MRIが使えない患者の診断に向く。検査所要時間は約3分。

脳ドックってこんなにすごい！

脳ドックを受けることによって、どんなことがわかるのでしょうか。そしてどんな病気の予防につながるのでしょうか。代表的なものを3つあげてみました。

こうそく 脳梗塞

脳梗塞とは、動脈硬化のため脳の血管が狭くなったり血のかたまりがつまったりして、片マヒやしびれ、言語障害などをひきおこす病気です。脳ドックでは、自覚症状がない段階の小さな脳梗塞（無症候性脳梗塞）を発見でき、予防の手立てをうつことができます。



くも膜下出血

脳の血管が破れて、脳を覆っているくも膜の下に出血するのが、くも膜下出血です。脳ドックでは、その原因となる脳動脈瘤、脳動静脈奇形などを発見し、予防的手術を行うことによって、くも膜下出血を未然に防ぐことができます。

脳血管性認知症

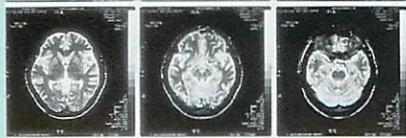
脳の動脈硬化や多発性の脳梗塞が進行すると、脳血管性認知症の原因となる可能性があります。これらは老化現象のようなもので完全な予防は難しいのですが、脳ドックで脳の状態を知り、必要な薬を服用したり、日常生活に気をつけることで、程度を軽くしたり進行を遅くすることができます。それが予防への第一歩となります。



脳ドックを可能にしたハイテク機器

.....②

MRI（磁気共鳴断層撮影）



(MRI写真)

X線ではなく、人体に影響を与えない磁気を応用する検査法。横断面だけではなくあらゆる角度から脳を診断できる。CTより鮮明な画像が得られるため、より精密な検査が可能になった。また、MRA（磁気共鳴血管撮影）という、脳の血管だけを撮影する検査法もある。いまや脳ドックのエースであるが、心臓のペースメーカーや脳動脈瘤のクリップなど、体内に金属が入っていると検査できない。検査所要時間はMRI、MRAを合わせて約15分。

脳ドックを受けよう!

● 受ける前に ●

特別な準備はいりませんが予約は必要です。また、検査項目や費用などは各病院によって違いますので予約時に確認するとよいでしょう。なお、健康保険の適用はありません。

(MRIとMRAの検査所要時間が、合わせて15分くらいの性能がよい機器を用い、経験豊かな脳神経外科が行っている脳ドックが安心です。)



● 標準的な検査項目 (重要な検査の順番になっています) ●

①MRI

MRIで脳の断面、MRAで脳の血管を調べる。心臓のペースメーカーや脳動脈瘤のフリップなど、体内に金属があると利用できない。



②頸動脈超音波検査

脳梗塞の原因となる頸動脈硬化の検査。



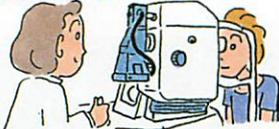
③心電図

心臓病の検査。心房細動が脳塞栓をおこすこともある。



④眼底写真

脳動脈の動脈硬化の程度を調べる。



⑤血液検査

全身の動脈硬化の危険因子を調べる。



⑥血圧測定

脳卒中の最大危険因子である高血圧の検査。



●脳血管造影やSPECT (スペクト：脳の血流分布の検査) などを行う場合もあります。

水上式 脳卒中危険チェック

1	60歳以上ですか (50点)
2	血圧が高いですか (40点)
3	糖尿病がありますか (30点)
4	両親が脳卒中あるいは高血圧ですか (20点)
5	アルコールを飲みすぎたり、脂肪や食塩を多くとるほうですか (20点)
6	ヘビースモーカーですか (10点)
7	肥満体ですか (10点)
8	心臓に不整脈がみられますか (10点)
9	運動不足だと思いますか (5点)
10	ストレスが多いですか (5点)

「はい」の得点を合計してください
 (「いいえ」は0点です)

- 80点以下…現在のところ心配ありません。
 - 90点以上…黄信号点減中。
 - 120点以上…赤信号。
- ☆90点以上…脳ドックを受けよう!

脳ドックは苦痛もなくとても安全です。
 あなたも脳ドックを受けてみませんか?

